



# 你好!

10号で中国の新年の話題を少し書きました。中国では、この期間「春節(しゅんせつ)」という連休になります。家族で過ごすので、お店もお休みのところが多いです。

(この休みを利用して、旅行に出かける人もいます。日本のテレビでも「春節で、中国からの旅行者が多い。」とニュースになっていました。)

中国の学校も、日本で言う「冬休み」になるのだそうです。

第11号は、「**中国の春節**」について紹介します。

## 対聯(ついでん)

文字が書いてある赤い紙が家や店の門に貼られています。春節の伝統的な飾り物なのだそうです。年の初めに縁起が良い言葉を綺麗な字で書き、壁や門の左右に貼ります。



この門の真ん中の「福」という文字、実はこれらは、春節でなくてもよく見かけます。そして、時々、

←「**逆さま**」にして貼ってあります。

どうしてだと思いませんか?

'福'の字を逆さまにすることを中国では'倒福(ダオ フー)'と言います。この発音(言い方)に関係があります。「倒」の文字は、中国語で「やって来る」の意味の'到(ダオ)'と同じ発音なのです。そこでゴロあわせの意味を込めて、わざと'福'の字をひっくり返して、'福'が入って来てくれることを人々は願っているのだそうです。



まるぼつ

○×クイ〜ズ!

中国で「こうもり」は縁起のいい動物

である?! ○か×か!



**正解は・・・○です!**

中国では蝙蝠(コウモリ)の中国語「蝠(フー)」と「福(フー)」の発音が同じということで縁起が良いとされているそうです。これも、ゴロ合わせですね。

**発音でゴロ合わせをしているもの**はまだあります。「魚」「金魚」もそうです。(エレベータの中の飾り、魚です→)



中国語に、「**年年有余**」という言葉があります。お金が余（あま）る、そういうゆとりある生活ができることを指す言葉です。この年年有余の「**余(ユ)**」と「**魚(ユ)**」の発音が同じであることから、「**年年有魚**」とかけて、「**毎年お金が残るゆとりのある生活ができますように!**」という願いを込めています。中でも「**金魚**」は「**お金が余る**」わけですから人気です。春節の飾りにも金魚や魚がよくついています。「**コウモリ**」と同じように「**魚**」も縁起がよい動物なのは、このように言葉の発音に由来しています。中国の人は、**言葉を大事にしている**んですねえ！

さてさて、そんな中国の新年の文化に触れる機会があり、参加してきました。



**絵付け体験**  
飾り物にします。お皿に絵を描いてお皿に絵を描いて飾り物にします。



**魚**  
縁起がいい  
**コウモリ**

わたしは、「**魚**」を選びました。一時間、集中して描きました!! なかなかの出来でしょう!?



**ついでに 対聯** 目の前で書いてもらえました。



**中国結び**

紐を結んで飾りにします。これは「**吉祥結び**」という縁起のよい結び方です。

**↓ この2枚の写真は、何でしょう？**



なんと! 「**中国版紅白歌合戦**」です。2月4日~5日にかけてテレビで放送されました。とにかく「**赤**」と「**人**」が多い! 中国らしいですねえ(^\_^)。

**おまけ** 10号の〇×クイズで、中国は今年ぶた年とお伝えしました。いろいろ調べていたら、日本では「**猪**」の字は「**イノシシ**」を意味しますが、中国では「**ブタ**」を意味することがわかりました。もしかして、これが日本のイノシシ年になった理由なのかなあ! ? と思いました。